

解答

問題 1 : ①

問題 2 : ③

問題 3 : ④

問題 4 : ②

問題 5 : ⑤

解説

【問題 1】《解答 1》

高齢者の感覚器に関する問題である。

- 1 : ○ 記述のとおりである。メニエール病は、耳鳴りや難聴を伴う回転性めまいで、高齢者の発症頻度は低い。高齢者の回転性めまいでは、良性発作性頭位眩暈症の発症頻度が高い。
- 2 : × 眼鏡の矯正では改善しない。治療として、薬物療法、レーザー凝固治療などが行われるが、これらは、低下した視力の維持や進行を遅らせる目的で行われる。
- 3 : × 老人性難聴は、通常は左右にあまり差はない。
- 4 : × 白内障は、手術で改善することが多い。
- 5 : × 高音域の聴力の低下で、高音の聞き取りが困難になる。感音性難聴であることが多い。

【問題 2】《解答 3》

レビー小体型認知症に関する問題である。

- 1 : × クロイツフェルト・ヤコブ病などでみられる。運動失調があり、自分の意思に反した不規則で非律動的な不随意運動である舞踏病様運動、筋固縮、運動麻痺などが出現する。
- 2 : × 前頭側頭型認知症（ピック病）の特徴的な症状で、前頭葉と側頭葉に特異的な萎縮がみられる。同じメニューしか食べない、同じ道しか通らないなど、常に同じ行動を繰り返す。
- 3 : ○ 記述のとおりである。特徴の 1 つには、パーキンソン症状があり、身体全体の動きが遅くなり、小刻み歩行、前傾姿勢、急に止まれない等の症状があらわれ、転倒しやすくなる。
- 4 : × 人に迷惑をかけたたりする反社会的行動は、前頭側頭型認知症（ピック病）などでみられる。
- 5 : × 原因治療薬はない。治療可能な認知症としては、血腫除去手術による慢性硬膜下血腫、シャント手術による正常圧水頭症認知症などがある。

【問題 3】《解答 4》

発達障害に関する問題である。

- 1 : × チック障害は、運動チックと音声チックの両方が、18歳以前に発症し、1年以上持続しているものをいう。
- 2 : × 自閉症スペクトラム障害は、先天的な脳の機能障害といわれている。
- 3 : × 男児に多い。
- 4 : ○ 記述のとおりである。
- 5 : × 行動援護である。知的障害または精神障害により行動上著しい困難を有する者が行動する際、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行うことである。同行援護の対象者は視覚障害者である。

【問題 4】《解答 2》

適応機制に関する問題である。

- 1 : × 置き換えとは、上司に対する不満を、部下に八つ当たりすることなどである。
- 2 : ○ 記述のとおりである。合理化とは、自分の行動や失敗を自分以外のところに原因があり、都合のよい理由をつけて自分の立場を正当化することである。
- 3 : × 反動形成とは、好きな異性に対して無関心を装うことなどである。
- 4 : × 代償とは、本当は海外旅行に行きたいが、国内旅行で我慢することなどである。
- 5 : × 投影とは、相手も自分と同じ感情を抱いていると決めてかかることなどである。

【問題 5】《解答 5》

医療的ケアを安全に実施するための問題である。

- 1 : × 喀痰吸引や経管栄養を安全に実施するためには、人体の生理・解剖や救急蘇生に関する適切な知識や技術が求められる。手順を覚えることが最優先ではない。
- 2 : × 喀痰吸引が必要な状態かどうかの判断・確認を行うのは看護職である。
- 3 : × ヒヤリ・ハット事例については、隠さず速やかに報告し、再発防止に向けて全員で情報を共有する。
- 4 : × 介護福祉士等は、喀痰吸引や経管栄養を実施するとき、自信がない行為は原則行わないか、確実にできる人に頼むことが必要である。
- 5 : ○ 記述のとおりである。